

自治協会長会議で整理したコロナ禍における課題について

○趣旨

会長会議で3つに絞った下記のコロナ禍における研究課題について、各区自治協でその解決等を検討し、再度会長会議に持ち寄った結果を今期の振り返り資料に盛り込み、第8期への引継ぎの一つとするもの。

○3つの課題

1. 会議の開催方法、それによる新たな体制・運営の確立について

会議をオンライン開催し、リモート出席を可能とすることはできないか(機運の視点も含む)。あるいは、そういう形で会議をすることで、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するだけでなく、何か新しい体制・運営を確立することはできないか。

例: 以下のことについて、メリット及びデメリットを整理する

- ・やる or やらない
- ・やる場合、事務局で機材を用意する or 用意しない(機材を持っている人のみ対応)
- ・事務局で用意しない場合、機材を持っていない人はコミ協事務所や出張所等でリモート出席

2. 自治協提案事業のあり方について

新型コロナウイルスの影響により今年度事業が実施できていないが、年度後半での実施の可能性及び来年度以降の「with コロナ」時代に対応した自治協提案事業のあり方について検討する。

例

弾力的運用の場合、地域団体等に二次募集を行う など

3. 防災強化に向けた、自治協の役割について

台風シーズンを迎えるが、新型コロナウイルスにより各地域の縦・横のつながりが分断されている状況下で自治協の人と人をつなげ、地域と行政、各種団体等を結ぶ役割は大きいと考えられる。

有事に備え、防災強化(防災士等の人材育成、区民の意識の啓発など)について自治協としてどのように検討し取り組んでいけるか。

《参考:スケジュール(目安)》

月	課題解決策等取りまとめ	第7期振り返り資料作成
8	20日(木):会長会議での目線合わせ 各区自治協開催日:会長会議報告、今後の検討に関する頭出し、(準備が整い次第、解決策等検討)	
9	各区自治協における解決策等検討	—
10	〃	—
11	〃 30日(月):市民協働課へ提出	(下旬:各区事務局へ作成依頼)
12	上旬:市民協働課で集約 中旬:会長会議で取りまとめ	中旬:会長会議で作成依頼(兼体裁確認)
1		下旬:暫定版を市民協働課へ提出
2	上旬:暫定版に取りまとめ結果を掲載	上旬:市民協働課で集約 中~下旬:各区で内容確認、完成版を市民協働課へ提出
3	第7期振り返り資料完成	